

4 計画期間の取組等

1 再開発の推進

川崎駅周辺では、民間活力を活かし商業・業務・文化・交流・都市型住宅等の多様な都市機能をバランス良く整備しています。今後予定されている京急川崎駅西口地区での民間開発に際しては、これまでの西口地区で進めてきた大規模な土地利用転換や、東口駅前広場の再編整備といった取組の効果と連携し、更なる都市機能の集積を図ります。

今後、京急川崎駅周辺など未開発エリアのポテンシャルを官民連携により最大限に引き出すとともに、多様な都市機能が集積した都市拠点の形成を推進し、本市の玄関口にふさわしい魅力と活力あふれた安全・安心な広域拠点として、質の高いまちづくりを計画的に進めます。



▲カワサキ アリーナシティ プロジェクト
[提供:㈱ディー・エヌ・エー]



▲京急川崎駅西口地区
第一種市街地再開発事業 [川崎市資料]



▲カワサキ文化公園
[川崎市資料]



▲既存ストック活用事例
[川崎市資料]

施策課題	計画期間の取組	当初4か年の主な取組内容(R8~R11)
(1)魅力と活力を高める多様な都市機能の誘導集積	<ul style="list-style-type: none"> 民間活力を活かしたまちづくりを計画的に誘導します。 	<ul style="list-style-type: none"> 京急川崎駅西口地区、川崎駅東口駅前地区等の民間開発の誘導 カワサキ アリーナシティ プロジェクトの推進 カワサキ文化公園を活用したまちづくりの推進 河川敷活用を見据えた活動拠点の誘導
(2)駅前等の施設などの機能更新と高度利用	<ul style="list-style-type: none"> 駅前地区等の高経年施設などの機能更新の機会を捉え、土地の高度利用と都市機能の集積を推進します。 東口周辺での既存ストックを活かしたまちの再生を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 京急川崎駅西口地区、川崎駅東口駅前地区等の民間開発の誘導 テクノピア地区の民間開発の誘導 京急川崎駅西口地区第一種市街地再開発事業の事業着手 インバウンドビジネス等推進事業補助金を活用した建物更新等の支援

4 計画期間の取組等

2 回遊性の強化

多様な商業機能の集積や、えき・まち・みち・かわが一体となりまちの利便性や回遊性を高め、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりを推進します。また、旧東海道など地域の歴史・文化資源や多摩川などの自然との連携を活かした、新たなまちの魅力を創造・発信するなど、地域住民等とともに、地域への愛着を持てる魅力あるまちづくりを推進します。

さらに、引き続き、客引き行為等の防止に向けた取組、路上違反広告物等の除却指導、防犯カメラ設置支援等の継続的な実施などにより、誰もが安全・安心で快適な通行環境の構築を図ります。



▲歩行者専用道路を活用した社会実験



▲東海道川崎宿まつり



▲ウォールアート

[すべて川崎市資料]

施策課題	計画期間の取組	当初4か年の主な取組内容(R8～R11)
(3)まちの一体的な回遊性の強化	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺や公共空間も含めた周辺地区と多摩川等がつながることで、えき・まち・みち・かわが一体となった回遊性の強化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川アプローチデッキの整備 民間開発事業(カワサキ アリーナシティ プロジェクト、テクノピア地区)による通路等の整備 JR川崎駅南口改札の必要性に関する調査・検討 京急川崎駅東西の回遊性強化に関する調査・検討 多摩川河川敷の歩行空間の検討・整備(六郷の渡し～多摩川見晴らし公園) 市役所から京急川崎駅をつなぐ京急通りの道路空間のあり方に関する調査・検討 さまざまなイベント等を通じた地下街アゼリアの賑わいの充実
(4)東海道の歴史と文化を活かしたまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の住民や事業者の主体的な取組と連携しながら、歴史・文化資源を活かし、旧東海道や六郷の渡し場跡等と駅周辺の回遊性に富む魅力あるまちづくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 東海道かわさき宿交流館を拠点とした歴史・文化を活かしたまちづくりの推進 民間企業や商店街の協力による江戸風意匠の街なみの推進 「東海道川崎宿まつり」、「東海道川崎宿スタンプラリー」による賑わいの創出

4 計画期間の取組等

2 回遊性の強化

施策課題	計画期間の取組	当初4か年の主な取組内容(R8～R11)
<p>(5)誰もが安全・安心に通 行でき、居心地のよく歩いて 楽しいウォーカブルな環 境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 車道から歩道への転換や、民間空地等の活用により、みどり・インフラ等を配置しながらより使いやすく居心地が良く歩きたくなるウォーカブルなまちづくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道状空地の整備促進 再開発事業区域内の地区内道路の整備 再開発等の機会を捉えた無電柱化の推進 歩道のバリアフリー化に向けた検討・整備 歩行者専用道路(駅前本町線等(アリーナ参道等))の整備
	<ul style="list-style-type: none"> 客引き行為等の防止に向けた取組、路上違反広告物等の撤去指導、防犯カメラ設置支援等を行うことで誰もが安全で快適な通行環境の構築を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 客引き行為等防止指導員の巡回活動による指導・啓発等の実施や、警察・商店街等他機関との連携による広報・啓発活動 路上違反広告物等の除却指導 路上はみ出し陳列対策の実施 商店街街路灯のLED化等のエコ化の実施 商店街への防犯カメラ設置補助
	<ul style="list-style-type: none"> 若者文化のアート等を活用した歩いて楽しいまちづくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者による駅周辺でのアート制作に対する支援

コラム

■ 「まち」と「かわ」を賑わいでつなぐイベント「DISCOVER KAWASAKI 2024」

- ✓ 現状のただ通り過ぎるだけの道を脱却し、「滞留したくなる空間」と「交流・賑わいの創出」により、公共空間の質向上と地域の回遊性促進に繋げることを目的に実施しました



[すべて川崎市資料]

■ 地域資源「東海道・川崎宿」を活かしたまちづくり

- ✓ 旧東海道の歴史資源を活かした街なみの形成やイベントなどの取組を地域住民との協働により実施しています



[東海道川崎宿HP、川崎市資料]

■ 若者文化のアート等を活用したまちづくり

- ✓ 回遊することが楽しく、居心地が良く歩きたくなる空間づくりに資するよう、川崎駅周辺の公共空間の中にアート資源を広げる取組を推進しています

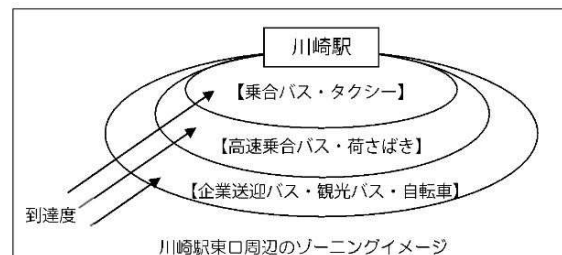


[すべて川崎市資料]

4 計画期間の取組等

3 利用しやすい交通環境の形成

川崎駅周辺地区については、本市を代表する広域拠点の玄関口として、新たな交通環境への対応など多様なニーズに対応するため、限られた空間を有効活用し交通環境の改善を図る必要があります。特に東口周辺に関しては、バス運転手等の担い手不足への対応と、環境負荷の低減を念頭に置きながら、駅への到達優先度に合わせて、利用者に分かりやすい交通手段ごとのゾーニングを行なうことにより多様な交通手段が共存できる環境を整えます。



▲自動運転バス

[すべて川崎市資料]

施策課題	計画期間の取組	当初4か年の主な取組内容(R8～R11)
(6)交通環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> • 道路交通の円滑化等に向けた市役所通りや新川通り等のバスレーン機能の確保を推進します。 • 交通需要等に応じた路線バス等の交通環境の整備を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> • JR川崎駅東口バス島内の利用環境の調整やBRT等に対応した改良の検討・推進 • BRTや自動運転バスの走行性向上に向けた対策の検討・推進 • 観光バス等発着スペースの検討 • タクシー等の路上駐車の防止に向けた取組検討
(7)荷さばき対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> • 民間駐車場等を活用した駐車場マネジメントによる荷さばき対策を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> • 共同荷さばき場等の確保に向けた実証実験の実施 • 共同配送の実施に向けた実証実験の実施
(8)自転車や新たな交通モードと歩行者が安全に通行できる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> • 道路を利用するすべての方々の安全・安心で快適な利用環境構築に向け、川崎市自転車活用推進計画に基づく自転車施策の総合的な取組や多様なモビリティへの対応を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> • 放置自転車の撤去、駐輪場への誘導 • 押し歩きエリアなど川崎駅周辺での啓発活動の実施 • 自転車マナーアップ指導員による巡回活動の実施 • シェアサイクルの本格運用の継続 • 多様なモビリティへの対応

4 計画期間の取組等

4 防災機能の強化

東日本大震災などの教訓に加え、近年激甚化する風水害などへの対応が求められる中、大規模地震や多様な災害に対して、的確な対策を進めていく必要があります。

広域的な都市拠点としての防災機能の強化や、老朽建物の更新・改修を推進するとともに、駅周辺の関係者間の密接な連携による災害対応力の強化を図り、都市の安全性を確保することで、川崎駅周辺地区の魅力と価値の向上を目指します。また、災害時には、駅周辺に整備されたデジタルサイネージ等のICTを活用し誰にでもわかりやすい情報発信を行うなど、誰もが安心して暮らせるよう、都市全体の安全性の向上を図り、大規模災害にも対応できる強靱なまちづくりを進めます。



【川崎市資料】

▲デジタルサイネージを活用した災害情報の発信

施策課題	計画期間の取組	当初4か年の主な取組内容(R8～R11)
(9)帰宅困難者対策等の推進	<ul style="list-style-type: none"> 一斉帰宅の抑制の周知や帰宅困難者一時滞在施設の確保等を行い、災害時における混乱の抑制や二次災害を防止する取組を推進します。 国の動向等を踏まえた浸水対策等の防災対策に取り組みます。 「川崎駅周辺の災害時における行動ルール」に基づく帰宅困難者対策訓練を継続的に実施し、帰宅困難者への対応方法の確立と向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 一時滞在施設の更なる確保と地下街アゼリア等一時滞在施設の機能充実 帰宅困難者用物資の配備・管理 浸水対策等の防災対策の推進 「川崎駅周辺の災害時における行動ルール」に基づく帰宅困難者対策の啓発・訓練の実施 デジタルサイネージや総合防災情報システム等のICTを活用した情報発信の検討・推進 民間開発の機会を捉えた帰宅困難者受入施設の拡充 民間のアクセスポイントや接続アプリを活用した、かわさきWi-Fiの利便性向上や利用促進に向けた取組の実施
(10)密集市街地の改善	<ul style="list-style-type: none"> 老朽木造住宅等が密集した市街地の防災上の改善に取り組み、地震発生時等の火災による延焼被害の低減を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 不燃化重点対策地区(幸町周辺地区)における燃え広がりにくいまちづくりの推進
(11)空きビル等の改善	<ul style="list-style-type: none"> 空きビル等の増加や建物の管理不全化に伴い周辺環境への影響や地域の活力低下への対応に向けた取組を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 空きビル等の遊休不動産への適切な対応(例:防災空地／荷さばき借上げ) 空きビル等の既存ストックの活用(インバウンドビジネス等推進事業補助金要綱の改正)

4 計画期間の取組等

5 社会変容への対応（少子高齢化・グローバル化等）

少子高齢化やグローバル化の進展により、高齢者や子育て世代、子どもや若者、障害者、訪日外国人など、全ての人にやさしいまちづくりが求められています。ホームドアの設置の推進等、誰もが安心・安全に移動できるバリアフリーやユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを推進します。

また、増加傾向にある訪日外国人にも配慮した多言語表示の充実などにより、誰もが利用しやすく訪れたいまちづくりを推進し都市イメージの向上を図ります。

[すべて川崎市資料]



▲ホームドア



▲アゼリア
点字ブロック

施策課題	計画期間の取組	当初4か年の主な取組内容(R8～R11)
(12)ユニバーサルデザインの推進	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー基本構想に基づき、バリアフリー化の整備・促進を図ります。 誰もがわかりやすい公共サイン整備に関するガイドラインによる誰もが利用しやすいまちづくりを推進します。 鉄道駅における安全性・利便性等の向上などを進め、高齢者や障害者など誰もが安全・安心に利用できる交通環境の形成を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活関連経路等のバリアフリー化の整備・促進 誰もが訪れやすく暮らしやすいユニバーサルデザインのまちに向けた取組の推進 誰もがわかりやすい公共サインの整備 京急大師線等のホームドア整備に向けた取組
(13)国際化を見据えた都市拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人の増加などを見据え、駅を中心に情報発信や観光案内の充実等の取組を進めるとともに、誘客を促進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 北口通路の観光案内所の有効活用 訪日外国人を対象とする観光コンテンツの造成と販売 民間開発の誘導(カワサキ アリーナシティ プロジェクト、川崎駅東口駅前地区、京急川崎駅周辺地区) 宿泊施設の誘導・整備 SNS等でのシェアサイクルなど手軽な移動手段の広報 インバウンドを視野に入れた川崎のナイトタイムエコノミー”ヨルカワ”の推進
(14)多言語による案内・情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人の増加などを見据え、多言語による案内サインや戦略的な情報発信等により、都市イメージの向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 北口通路における行政サービス施設や壁面等を活用した観光案内、魅力の発信 北口通路における壁面広告及びLEDビジョン運用の実施 海外の旅行会社等に対するセールス・プロモーションの実施 SNSや観光ホームページの多言語化など情報発信の充実 多言語ガイドブックやマップ等の情報発信ツールの充実の推進 誰もがわかりやすい多言語表記の促進

4 計画期間の取組等

6 環境に配慮したまちづくりの推進

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、ICTや最先端の技術を活用した環境に配慮した都市づくりが求められています。「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」に基づき、住まい、交通、エネルギーなどの社会インフラなどにおいて、脱炭素社会を目指した再エネの普及促進や環境技術の導入、DX等を活用した持続可能なまちづくりの推進など、地球環境に配慮した持続可能なまちづくりを推進します。



▲かわさきゼロカーボンロゴ

▲川崎駅東口駅前広場(太陽光発電等)

[すべて川崎市資料]

施策課題	計画期間の取組	当初4か年の主な取組内容(R8～R11)
(15)脱炭素社会を目指したまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none">再エネ・省エネ機器等の導入促進に向けた取組や関連情報の発信等を通じ、脱炭素社会を目指したまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none">太陽光発電設備・省エネ機器等の導入促進やエネルギー利用最適化に向けた普及啓発の充実開発事業等における民間事業者と連携した脱炭素化の取組への誘導・促進
(16)DX等を活用した持続可能なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none">官民の更なる連携により、テクノロジー等も活用しながら先駆的で持続可能な取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none">官民連携による持続可能なまちづくりに向けた取組の推進(Kawasaki 2050 Modelの推進)
	<ul style="list-style-type: none">ICT・データの利活用により、誰もが豊かさを享受する持続可能な社会の実現に向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none">かわさきWi-Fiの利便性の向上に向けた取組の実施民間のアクセスポイントや接続アプリを活用した、かわさきWi-Fiの利用促進に向けた取組の実施

4 計画期間の取組等

6 環境に配慮したまちづくりの推進（コラム）

■ 社会実装型サステナビリティプラットフォーム「Kawasaki 2050 Model」の推進

- ✓ 「Kawasaki 2050 Model」は、DeNAと川崎ブレイブサンダースが、パートナー企業との共創を通じて社会課題の解決に挑む社会実装型サステナビリティプラットフォームです。
- ✓ 川崎が抱える課題を基に、世界共通の社会課題から5つの重点テーマを選定し、「Kawasaki Arena-City Project」を舞台に様々なパートナー企業との共創による社会実装を通じて2050年までに設定したゴールを達成し、世界における都市の新たなモデルになることを目標としています。



アリーナシティ・プロジェクトを契機とした持続可能なまちづくりの推進に向けた連携協定を締結(令和8年1月29日)

- ✓ 「Kawasaki 2050 Model」の推進にあたり、川崎市と株式会社ディー・エヌ・エー、および株式会社DeNA川崎ブレイブサンダースは、持続可能なまちづくりに向けた連携協定を締結しました。



Kawasaki Arena-City Projectについて

- 株式会社ディー・エヌ・エーと京浜急行電鉄株式会社が共同で進める、アリーナおよびその周辺地域を中心としたまちづくりを一体的に行うプロジェクトです。
- 以下の3つの要素を重点項目として設定し、アリーナ建設にとどまらず開発を推進します。

1. 街と調和したアリーナシティ開発

- 2027年中着工、2030年10月開業予定の新アリーナ開発
- 1万人以上が収容可能なアリーナとして世界初となるルーフトップパークの開発
- 多摩川河川敷の整備・開発と連携



▲ルーフトップパーク開発 イメージビジュアル

2. 街を賑わせるコンテンツ開発

- 川崎ブレイブサンダースのホームゲーム会場としての賑わい創出
- ダンスなど、川崎カルチャーを中心としたスポーツ・ライブエンタメの興行開発

3. 持続可能な街の開発 (Kawasaki 2050 Model)

- 年間330万人の来場を見込むアリーナシティを舞台に、パートナー企業との共創を通じて社会課題の解決に挑む社会実装型サステナビリティプラットフォームとして次世代都市モデルの世界的ベンチマークを目指す



[出典：R8.1.29川崎市報道発表資料、株式会社ディ・エヌ・エー他4者プレリリース資料]

4 計画期間の取組等

7 美しい都市景観・都市環境の形成

駅周辺ではさまざまな人が行き交うことから、マナー向上に向けた取組を進めるとともに、市民・事業者・行政との協働により、東海道の歴史や多摩川の自然等の地域資源を活かした魅力と活力あふれる街なみづくりに取り組みます。

また、カワサキ アリーナシティ プロジェクトを契機とした川崎のシンボルとなるような空間の検討・整備を進め、「川崎らしさ」を感じられるまちづくりを推進します。



▲路上喫煙防止指導員による巡回活動



▲旧東海道のまちなみづくり
[すべて川崎市資料]

施策課題	計画期間の取組	当初4か年の主な取組内容(R8～R11)
(17)駅周辺の環境美化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 路上等での喫煙防止やポイ捨て防止の啓発活動、注意・指導などを継続的に実施するとともに、川崎市客引き行為等の防止に関する条例に基づく取組等を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙者のマナー向上に向けた効果的な広報・啓発、適切な分煙環境の充実の推進 客引き行為等防止指導員の巡回活動による指導・啓発等の実施や、警察・商店街等他機関との連携による広報・啓発活動 路上違反広告物等の除却指導
	<ul style="list-style-type: none"> 道路施設の美化に向けた取組などを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 落書き消し及びシール剥がしの実施 ミュージーラルアート等の整備による落書きの抑制に向けた取組
	<ul style="list-style-type: none"> ホームレスの自立支援について引き続き取組を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームレス自立支援実施計画に基づく巡回相談・自立支援センター、アフターケア事業等の推進
(18)地域資源等を活かした広域拠点にふさわしい街なみづくり	<ul style="list-style-type: none"> 京急川崎駅周辺のまちづくりと連動した川崎の新しいシンボルとなる施設等の景観づくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> カワサキ アリーナシティ プロジェクトによる川崎のシンボルとなるような空間の検討・整備
	<ul style="list-style-type: none"> 川崎市景観計画に基づき、市民・事業者・行政との協働による個性と魅力ある景観づくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 景観計画特定地区、都市景観形成地区の方針・基準等に基づいた良好な景観の誘導 「公共空間景観形成ガイドライン」に基づく道路・公園等の景観の誘導
	<ul style="list-style-type: none"> 東海道や多摩川などの景観資源を活かした景観づくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 旧東海道と稲毛神社をつなぐ道路における魅力的な街なみの形成に向けた取組 「多摩川景観形成ガイドライン」や「東海道川崎宿まちなみづくりガイドライン」に基づく建築物等の景観の誘導 歴史ある東海道の街なみを再構築し、魅力あふれるまちを目指す住民主体の取組の支援
	<ul style="list-style-type: none"> 川崎駅東口駅前地区地区計画に基づく民間開発を誘導します。 	<ul style="list-style-type: none"> 川崎駅東口駅前地区地区計画に基づく民間開発の誘導

4 計画期間の取組等

8 「みどり」を活かしたまちづくりの推進

川崎駅周辺の幹線道路沿い、東口駅前広場や多摩川の緑は、潤いと安らぎをもたらす身近な緑であり、駅周辺の都市景観として定着しています。富士見公園の再整備や「全国都市緑化かわさきフェア」を通じて育まれた市民協働による緑のまちづくりを継承し、個性と魅力にあふれた良好な都市景観の形成を推進します。

また、国土交通省が進める護岸整備とあわせて、民間活力を活かしながら豊かな自然を感じられる多摩川を活かした賑わいの場を創出するとともに、まちと水辺空間のネットワークを形成することで、回遊性・連続性の向上を図ります。

みどりを活かすことで、川崎駅周辺の生活の質の向上や地域価値の向上に取り組めます。



▲多摩川見晴らし公園



▲稲毛公園カンパイビアデイ



▲富士見公園



▲協働の取組（富士見公園前）

[すべて川崎市資料]

施策課題	計画期間の取組	当初4か年の主な取組内容(R8～R11)
(19)まちの価値向上につながる「みどり」空間整備・活用	<ul style="list-style-type: none"> 良好な都市景観や都市環境の形成に向けて、市民と協働するなどして都市緑化の推進に取り組むとともに、富士見公園の機能強化を図り、施設の再編整備を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 街路樹の適正な維持管理の推進 富士見公園再編整備事業の推進（指定管理業務及び5期工事の実施等） 民間開発の機会を捉えたまとまり・つながりのある緑化空間の創出の促進（認定制度の活用） 稲毛公園等の利活用推進 西口ペDESTリアンデッキに設置された花壇ベンチや、駅前の花壇など、緑化フェアを通じて始まった市民協働の取組の推進
(20)多摩川の自然、公園、民有緑地など、生物多様性、緑のつながりに配慮したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> まちと水辺空間の回遊性・連続性の向上を図り、多摩川を身近に感じられる憩い空間と多摩川への人の流れの創出を誘導します。 河川空間とまち空間が融合し、若者文化や東海道川崎宿などの川崎らしさを活かした個性的で賑わいあるまちづくりによるウェルビーイングの向上や地域活性化に資する良好な空間形成に取り組めます。 「新多摩川プラン」や「多摩川景観形成ガイドライン」などを踏まえ、多摩川の自然を活かした生物多様性豊かなまちづくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> まちと水辺緑化空間の回遊性・連続性の向上による多摩川との連携の創出に向けた検討・推進（多摩川見晴らし公園への民間活力導入等） 若者文化や東海道川崎宿など川崎らしさを活かした個性的で魅力的な「かわまちづくり計画」の検討・策定 国による多摩川護岸整備と連携した「かわまちづくり計画」に基づく、民間活力を活かした河川敷整備・活用の推進 多摩川景観形成ガイドラインに基づく景観誘導

4 計画期間の取組等

9 まちの賑わいづくりの推進

川崎駅周辺地区には、ショッピングモール、市内最大規模の商店街、地下街アゼリア等の商業施設や、SUPERNOVA KAWASAKI、カルッツ川崎、クラブチッタ、ミュージア川崎シンフォニーホール等、魅力ある施設や音楽施設が集積しています。こうした商業集積や交通利便性などの立地特性を活かしながら、活力と魅力ある広域拠点の形成を目指し、地域全体の回遊性強化を図ります。

また、道路・公園等を活用したイベントの開催など公共空間の有効活用により、えき・まち・みち・かわが一体となった賑わいづくりや中心市街地の更なる活性化を推進します。



▲市役所広場の活用



▲JR川崎駅北口通路LEDビジョン ▲水曜ナイトライブ



[すべて川崎市資料]

施策課題	計画期間の取組	当初4か年の主な取組内容(R8～R11)
(21)既存ストックを活用した賑わいの創出	<ul style="list-style-type: none"> 既存の公共施設、民間施設や隣接する空間などを活用した賑わいの創出を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> インバウンドビジネス等推進事業補助金を活用した賑わい創出の支援 公共空間の利活用を通じた賑わいの創出や回遊性の向上に資する取組の推進 高架下空間の活用 路上演奏登録制の本格運用に向けた取組や地域と連携した音楽ライブ等の実施 公共空間を活用した広告塔等の取組の推進
(22)賑わいと活力に満ちた身近な商店街の形成	<ul style="list-style-type: none"> 川崎駅周辺のイベントを支援し、中心市街地の魅力発信や、魅力あるまちづくりを進める活動を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> かわさきアジアフェスタの実施 商店街・大型店・市などが主催するイベントの実施 川崎市観光ガイドブック「川崎日和り」による手軽な移動手段の広報 イベントなどについてタイムリーな情報提供
(23)まちづくりと連携した多様な分野の融合による大規模イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> 川崎駅周辺のまちづくりと連携し、公共空間を利活用した多様な分野の融合による大規模イベントを開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> みんなの川崎祭などの賑わい創出に向けた大規模イベントの開催

4 計画期間の取組等

9 まちの賑わいづくりの推進（コラム）

■ みんなの川崎祭

- ✓ 「みんなの川崎祭」は、川崎市市制100周年を機に誕生した公共空間を活用した取組で、川崎駅前の市役所通り約500m・6車線を歩行者空間とし、居心地が良くウォークラブルなまちを体験できる共創型フェスティバル
- ✓ スポーツ・ダンス・アート・音楽・フードなど多彩なカルチャーを一堂に集結させ、子どもから大人まで、観るだけでなく体験しながら楽しめる“みんな”のお祭り



参考：来場者数10.7万人（R7）

[川崎市資料]

■ インバウンドビジネス等推進事業補助金

- ✓ 既存ストックを有効活用したまちづくりの推進を目的として、「将来外国人観光客等新たな来街者の獲得に繋がる、まちの賑わい創出や地域コミュニティの活性化」に資する新たな改装工事（リノベーション工事）に係る費用の一部を支援
- ✓ 旧東海道沿道の景観形成の一助となるような民間施設のリノベーションが増加中



[川崎市資料]

■ 川崎駅周辺での道路・公園等の活用の推進

- ✓ 川崎駅周辺では、立地特性を活かし、広場・道路・緑地などの公共空間を活用した地域の活性化やまちの賑わい創出・魅力向上のため、事業者や地域コミュニティと連携したイベントの実施など、さまざまな取組を推進



[川崎市資料]

■ 川崎駅東口駅前広場路上演奏の登録制試行実施

- ✓ 川崎駅東口駅前広場での路上演奏について、多くの方々に利用される公共の通路という広場の機能を保ちつつ、路上演奏を音楽のまちの貴重な文化として継続していくための試みとして、指定エリアでの演奏活動を登録制にする運用を試行実施



[川崎市資料]

4 計画期間の取組等

10 地域の担い手づくりの推進

持続的なまちづくりを推進するため、市民、事業者、行政が連携・協働する体制を強化し、まちづくりの担い手となる人材を育成・支援します。

全国的にエリアマネジメント活動に取り組む団体が増加している状況を踏まえ、川崎駅周辺地区においても、開発で整備されたオープンスペースを活用した賑わいの創出や、まちなかの各イベント等の連携など、まちの賑わいにつなげていくまちの担い手づくりを推進します。

特に、民間活力を活用した地域活性化を目指し、官民が連携した公共サービスを提供する仕組みづくり（官民連携）を具体化する活動を支援します。

施策課題	計画期間の取組	当初4か年の主な取組内容(R8～R11)
(24) エリアマネジメント団体の組成による持続可能なエリア価値の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> ステークホルダーを中心としたエリアマネジメント団体を組成し、まちの魅力と価値を持続的に高めるエリアマネジメントを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> エリアマネジメント団体の組成に向けた取組 公共空間等の活用の更なる推進に向けた都市再生推進法人の認定・検討

コラム

■ [(一社)大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会]

- ✓ 活動エリア: 千代田区大手町・丸の内・有楽町地区
- ✓ 大丸有地区の地権者を会員とし、エリアの付加価値を高め東京の都心において持続的な発展に向けた多種多様な取り組みを展開
- ✓ 都市再生推進法人の認定を受け、公共空間での取組を展開

▼Marunouchi Street Park



▼エリアマネジメントの推進体制



[出典: 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会]

■ [(一社)日本橋浜町エリアマネジメント]

- ✓ 活動エリア: 中央区日本橋浜町界隈
- ✓ 地元町会・商店街・企業・住民が連携しながら、まちの価値向上・活気あふれる地域活動を推進及び支援
- ✓ 正会員として、カゴメ、good mornings、建設技術研究所、TOKYO MIDORI LABO、明治座、安田不動産が参加、一般会員、個人会員、特別会員で構成され、活動を展開

▼浜町マルシェ



▼浜町きれいプロジェクト



[出典: 日本橋浜町エリアマネジメント]

5 計画の推進に向けて

計画推進

本計画では、計画期間の概ね12年を見据え「目指す市街地像」、「まちづくりの基本方針」、「まちづくりの基本施策」、「施策課題」や「計画期間の取組内容」を位置づけています。また、4年間に実施予定の「主な取組内容」を整理しています。

計画の推進に向けては、川崎市総合計画実施計画と整合を図り、概ね4年ごとに「主な取組内容」の時点更新を行います。時点更新の検討にあたっては、駅周辺地区の商業・交通・環境・利活用等に係る計画推進庁内会議を開催するなど庁内関係局等と連携するとともに、市民等の意見を参考にしながら、社会状況の変化や新たな課題等への対応などを図ります。

※本計画では指標や目標の設定は行いませんが、川崎市総合計画実施計画や都市再生整備計画の指標を適切に確認し、時点更新時に活用します。

